

教科名		児童の実態(現状の課題)	具体的な改善のための方策
国語	教科の課題	<p>【音読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい姿勢で音読できる児童が多い。</li> <li>拗促音の読みが不十分な児童が多く見られる。</li> </ul> <p>【読む力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字は読めるが、言葉として読むことができていない児童が数名いる。</li> <li>読解力が乏しい児童が多く、内容理解が難しいことが多い。</li> </ul> <p>【書く力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名を一文字一文字書くことができるが、単語を書く時に、拗促音の場所が分からない児童が多い。</li> </ul> <p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちや考えを詳しく話したり書いたりすることがなかなかできない。</li> </ul>	<p>【音読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中や家庭学習で音読の時間を必ず取り入れ、その際に文字の横を指でなぞりながら読むことによって、視覚・聴覚を使って音を覚えていくようにする。</li> </ul> <p>【読む力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な語彙を動作化し考えさせたり、繰り返し音読することで話の流れを捉えさせたりするようにする。</li> </ul> <p>【書く力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単語を書く練習を授業内や学力向上タイム、家庭学習で取り入れる。促音の場所に慣れさせるために、手を叩いて促音の場所の確認をする。</li> </ul> <p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちや体験したことなどを、友達と伝え合ったり、順序立てて書いたりする活動を授業内で増やす。</li> </ul>
	言語能力育成のための工夫	<p>【言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に読書記録ノートを書く習慣ができてきたが、個人差がある。</li> </ul>	<p>【言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本で調べる活動や図鑑を見る活動など、日常的に読書できる環境を整えていく。</li> </ul>
算数	教科の課題	<p>【計算力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指を使わないと繰り上がり、繰り下がりのない一桁同士の足し算、引き算ができない児童が数名見られる。</li> </ul> <p>【文章題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題文からキーワードを見付け、足し算か引き算かを判断できない児童が多い。</li> <li>問題文の情報から図に表すことができる児童が少ない。</li> </ul> <p>【自分の考えをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自力解決の場面で、自分の考えをもつことができない児童が見られる。</li> </ul>	<p>【計算力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、学力向上タイムや家庭学習で計算カードに取り組む時間を設ける。</li> </ul> <p>【文章題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題の際は、キーワードになる言葉に印を付ける活動やイメージを図に表す活動を繰り返し行う。</li> <li>図の書き方を繰り返し指導していく。</li> </ul> <p>【自分の考えをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもつ場面で友達の考えを参考にしてノート指導を行う。</li> </ul>
生活	教科の課題	<p>【経験の不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より体験的な学習を計画していく。</li> </ul> <p>【自分の考えの表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見たこと、感じたこと、聞いたことなどを自分の言葉で表現することがあまりできない児童がいる。</li> </ul>	<p>【経験の不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の自然環境を活かし、体験できる場を設定していく。児童の興味関心、思いや願いを引き出し、学習活動を展開していく。</li> <li>活動後に振り返りカードを発表することで友達の考えを知り、自分の思いを表現できる場を増やしていく。</li> </ul>
音楽	教科の課題	<p>【感染防止対策の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マスクを着けたままでの歌唱やリズム遊び、感染症予防を意識した楽器演奏を行っている。</li> </ul> <p>【自分の思いの表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲を聞いた時のイメージを表現するのが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<p>【感染防止対策の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手拍子を中心に拍を意識し、ペアでリズムを考え呼应し合う活動を増やしていく。また、鍵盤ハーモニカの指の動かし方も段階的に取り組んでいく。</li> </ul> <p>【自分の思いの表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>強い、弱い、速い、遅いなどの違いを、生き物の様子や体の動きで具体的に表すことによって、表現できるようにする。</li> </ul>
図工	教科の課題	<p>【道具の正しい使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糊の適量を考えて活動したり、曲線を正しいハサミの使い方ですっきりすることが難しい児童が見られる。</li> </ul> <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の順序を間違えてしまうことがある。</li> </ul> <p>【伝え合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の作品をすすんで見たりよさを伝え合ったりすることができていない。</li> </ul>	<p>【道具の正しい使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって活動ができるように使用方法を具体的に示して取り組ませる。</li> </ul> <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の手順を黒板に示し、視覚的に伝わるようにする。</li> </ul> <p>【伝え合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の後半に鑑賞の時間を設け、作品を見合ったりよさを伝え合ったりする活動を取り入れていく。</li> </ul>
体育	教科の課題	<p>【準備運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体の動かし方が分からず、準備運動を十分に組み合わせていないことがある。</li> </ul> <p>【基本的な体力不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座学の際に姿勢保持ができる筋力が備わっていない。自分の体を支える力が弱い。</li> </ul> <p>【グループで高め合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の動きに懸命になってしまい、友達の動きやそこからよさを発見することができていない。</li> </ul>	<p>【準備運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくりと体のどこを意識するのかを考えながら取り組んだり、様々な動きを取り入れたりしていく。</li> </ul> <p>【基本的な体力不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体カテストの結果を受け、コーディネーショントレーニングに取り組んだり、瞬発的な動きや腹筋背筋を意識した動きを取り入れたりしていく。</li> </ul> <p>【グループで高め合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内研での学びを取り入れ、児童の中から手本となる動きを取り上げ、互いに賞賛する機会を多く設けていく。</li> </ul>
道徳	教科の課題	<p>【自分事として捉える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的価値について他人事として捉えることはできるが、自分事として捉えることができていないことがある。</li> </ul> <p>【人権感覚を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思い込みによる善悪の判断が多く、それを主体とした言葉を発することで、友達を傷つけてしまうことがある。</li> </ul> <p>【自分の思いや考えの表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを表現できない児童が見られる。</li> </ul>	<p>【自分事として捉える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分だったらどうするのか、自分は選択肢の中でどれに近い思いなのか問う機会を増やす。</li> </ul> <p>【人権感覚を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活を通して、互いの行動の良さやよくなかったことなどの問題を学級全体で捉えて考える時間を取り入れ、人権感覚を育てていく。</li> </ul> <p>【自分の思いや考えの表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いの思いを肯定し合える雰囲気をつくり、自信をもって表現できるような環境を整えていく。</li> </ul>
	学びに向かう力等を育むための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの身の回りの情報機器に親しみ、すすんで利用しようとする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロックやタブレットの簡単な操作を通してプログラミングの基礎を学ぶ。</li> <li>eライブラリのコンテンツを使い、国語と算数の予習復習を行う。</li> </ul>